

一般社団法人 OIV 登録品種協議会 個人会員募集要領

2023.3.21 改定

一般社団法人 OIV 登録品種協議会は下記の通り個人会員を募集します。

1. 個人会員年会費

一口 1 万円（一口以上） ※毎年 4 月～翌年 3 月を 1 年とし、途中入会においても、同額とする。

2. 個人会員特典

- ・主催するセミナー、イベントへの無料参加（1 名様まで） ※年 2 回程度のセミナー、イベントを実施予定
- ・友好団体や会員ワイナリーのセミナー、イベントの優先ご案内
- ・これまでに実施した 4 回のセミナー限定動画の閲覧

・ 申込方法

下記フォームより必要事項を記入の上、お申し込みください。お申込後お送りするメールに記載された銀行口座に会費をお振込みくださいませ。

<https://forms.office.com/r/cULzAdS1ie>



(お問い合わせ先) Info@oiv.jp 担当：松尾 (mobile : 090-9106-7533)



Muscat Bailey A

Koshu

Yamasachi

OIV登録品種ブドウでつくられた 日本ワインを 日本全国、そして世界へ。



一般社団法人
OIV登録品種協議会



OIVに登録された日本固有品種のブドウ品種は、日本ワインの宝であり、日本独自のワイン文化を世界に向けて発信するための原動力になるものと、私たちは考えます。
私たちは、ブドウ生産者、ワインメーカー、そして日本ワインをこよなく愛するファンの方々と手を携えて、OIV登録品種でつくられたワインとその魅力を、まずは日本全国へ、そして世界に向けて発信していきます。



さあ、一緒に、OIV日本ワインで乾杯！

「OIV」とは？

OIV(国際ブドウ・ワイン機構)とは、「Office International de la vigne et du vin」の略称で、ブドウ栽培やブドウ品種、ワインづくりに関する総合的な研究機関。フランスに拠点を置き、1924年に前身となる団体が設立されて以来、さまざまな研究、発表を行ってきた政府間組織です。

現在、OIVに登録承認されている日本のぶどう品種は、「甲州」と「マスカット・ベリーA」、さらに「山幸」の3種類のみ。2010年に白ワイン用の「甲州」が登録され、次いで2013年に赤ワイン用の「マスカット・ベリーA」が、そして2020年に「山幸」が登録承認されています。

OIVの登録品種として承認されることにより日本固有のぶどう品種名を表示したワインを、EUで販売することが可能となります。その意味で、OIVの登録品種になることは、日本ワインがEU諸国のワイン市場の扉を開く、第一歩ともなるのです。



協議会の活動はフェイスブックでご紹介しております。

OIV登録品種協議会

検索